

令和6年度「学校評価」の分析と改善の方策

令和7年2月

宮城県美田園高等学校

「学校評価」アンケートへのご協力ありがとうございました。この結果を踏まえて、よりよい学校になるよう一層努力してまいりますので、今後とも御理解と御協力をお願いいたします。

	生徒			保護者		
	R6	R5	R4	R6	R5	R4
実施年	R6	R5	R4	R6	R5	R4
実施月	12月	11月	11月	12月	11月	11月
対象者数(登録者)	1098	1018	970	1098	1018	970
回答者数	184	303	239	150	233	87
回答者割合	17%	30%	25%	14%	23%	9%

設問 1	スクール・ミッションの実現について								
生徒	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。								
保護者									
教職員									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員		
	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4
よくあてはまる	45%	39%	34%	23%	25%	31%	21%	29%	29%
だいたいあてはまる	46%	43%	43%	62%	56%	47%	71%	68%	57%
あまりあてはまらない	1%	3%	7%	1%	3%	5%	4%	0%	7%
あてはまらない	1%	1%	0%	0%	1%	1%	4%	0%	0%
よくわからない	7%	14%	17%	15%	16%	16%	0%	4%	7%
アンケート結果の分析内容	生徒、保護者、教職員ともに肯定的評価が高い水準で推移しています。新しい教育課程へと年次進行で移行してきて、完成前年度であることが結果に表れているのではないかと思います。教職員に関しては否定的評価が増えましたが、新旧の教育課程が混在していることによるダブルスタンダードに苦慮してきたことによるものと思われます。								
改善の方策	令和7年度はすべてが新しい教育課程での実施となりますが、これで完成ではなく、改めてスクールポリシーに照らし合わせて、より良い教育課程の編成になるように課題の洗い出し等に着手したいと思います。								

設問 2	レポート添削について								
生徒	本校では、学ぶ意欲を引き出し、学力が身につくようなレポート添削が行われている。								
保護者									
教職員									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員		
	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4
よくあてはまる	40%	37%	37%	27%	26%	40%	4%	7%	21%
だいたいあてはまる	47%	48%	53%	54%	58%	49%	83%	89%	75%
あまりあてはまらない	7%	8%	8%	7%	5%	4%	13%	4%	0%
あてはまらない	2%	2%	0%	1%	2%	1%	0%	0%	0%
よくわからない	4%	5%	2%	9%	9%	11%	0%	0%	4%
アンケート結果の分析内容	「よくあてはまる」は生徒で微増しましたが、教職員では4%と一桁になっています。新しい教育課程が始まり、また生徒数が増える中、美田園生に合ったレポートやスクーリングの在り方を教職員自身が試行錯誤しながら追求していることの表れであると思われます。								
改善の方策	中学時代までの不登校や高校入学後の退学の経験など、様々な学習歴のある生徒がいることを踏まえ、家庭で生徒の学習を見守る保護者にも理解を得られるレポート添削の改善をさらに進めます。学びと自己肯定感を高める添削方法を職員間で共有していきたいと思えます。								

設問 3		スクーリングについて								
生徒	本校のスクーリングはレポート作成に役立っている。									
保護者										
教職員										
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	
よくあてはまる	61%	57%	58%	31%	24%		33%	7%	21%	
だいたいあてはまる	34%	35%	37%	57%	57%		58%	89%	75%	
あまりあてはまらない	2%	5%	3%	1%	4%		4%	4%	0%	
あてはまらない	2%	1%	1%	0%	0%		0%	0%	0%	
よくわからない	1%	2%	1%	10%	15%		4%	0%	4%	
アンケート結果の分析内容	「よくあてはまる」が、生徒で微増しました。生徒数が増加しても、生徒一人一人への声かけやスクーリングを展開する際の工夫が、一定の効果を上げていると思われます。									
改善の方策	レポート作成に役立ち、さらに興味・関心を深められるように、スクーリングの改善を図ります。特に、進化するICTの効果的な活用について検証を進めていきます。また、スクーリングの前提となる生徒との信頼関係を築くよう努力します。									

設問 4		基本的な生活習慣について								
生徒	生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。									
保護者										
教職員										
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	
よくあてはまる	24%	25%	23%	11%	17%	20%	8%	11%	14%	
だいたいあてはまる	45%	49%	42%	51%	46%	53%	63%	57%	57%	
あまりあてはまらない	14%	10%	17%	9%	10%	9%	25%	21%	21%	
あてはまらない	4%	3%	3%	3%	3%	0%	0%	4%	0%	
よくわからない	13%	14%	15%	27%	25%	18%	4%	7%	0%	
アンケート結果の分析内容	「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」の肯定的な回答が毎年生徒では7割程度、保護者では6割程度あるものの、保護者の肯定的な回答が、減少傾向にあります。また、保護者の「あてはまらない」「よくわからない」も増加傾向にあります。									
改善の方策	スクーリング時には自習室を含めた校内の巡視や学校周辺を巡回し、特に自習室でのマナーアップにつながる指導や、一人でいる生徒への声かけも継続的に実施していきます。また、次年度は、学校前に商業施設も開店するので校外での生徒の見守りも随時行っていきます。									

い

設問 5		進路指導について								
生徒	生徒にとって、進路達成に向けた行事や講座などの学習機会が整備されている。									
保護者										
教職員										
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	
よくあてはまる	36%	23%	28%	23%	16%	23%	21%	14%	25%	
だいたいあてはまる	48%	42%	44%	53%	43%	51%	75%	71%	75%	
あまりあてはまらない	3%	6%	11%	7%	12%	5%	4%	14%	0%	
あてはまらない	2%	4%	0%	2%	3%	0%	0%	0%	0%	
よくわからない	10%	24%	16%	15%	26%	22%	0%	0%	0%	
アンケート結果の分析内容	進路行事や講座について、進路だよりや卒業予定生通信、Meラーニング等での周知を図ってきたことなどが、肯定的な回答が増えた要因であると考えられます。また昨年度までは、「進路目標を明確にするための指導が適切に行われている」という質問形態があったため、生徒・保護者の解釈・回答にもばらつきがあったと思われます。									
改善の方策	進路行事等の広報活動を今後も継続的に進めていくとともに、進学・就職に必要な新しい情報の収集にも力を入れ、各種行事の内容の拡充を図っていきます。今年度から運用された「学校推薦選考基準」の周知徹底も必要であると考えています。									

設問 6		相談の体制について								
生徒	生徒にとって、教員やカウンセラーが必要なときに相談に応じてくれる体制ができている。									
保護者										
教職員										
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	
よくあてはまる	46%	43%	45%	26%	25%	40%	42%	54%	61%	
だいたいあてはまる	35%	37%	38%	52%	45%	44%	54%	46%	36%	
あまりあてはまらない	3%	4%	2%	6%	7%	5%	4%	0%	4%	
あてはまらない	3%	2%	0%	1%	2%	0%	0%	0%	0%	
よくわからない	13%	14%	15%	15%	21%	12%	0%	0%	0%	
アンケート結果の分析内容	生徒保護者とも8割程度が「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と肯定的な回答をしています。中でも保護者の肯定的な回答は前年度より上昇しています。									
改善の方策	養護教員を中心にSC・SSW及び関係年度や担任との連携を図り、生徒保護者への相談体制の強化をすると同時に、継続的に生徒保護者に対して周知の徹底をはかっています。									

設問 7		生徒会活動について								
生徒	学校として、生徒会活動は活発に行われている。									
保護者										
教職員										
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	
よくあてはまる	35%	31%	18%	19%	18%	14%	29%	18%	14%	
だいたいあてはまる	40%	37%	37%	43%	44%	41%	71%	79%	75%	
あまりあてはまらない	3%	6%	8%	6%	8%	9%	0%	0%	7%	
あてはまらない	1%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
よくわからない	20%	25%	36%	32%	31%	36%	0%	4%	4%	
アンケート結果の分析内容	「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」の肯定的な回答をした生徒の割合は高く、上昇傾向にある一方、保護者では「わからない」と回答している生徒・保護者も毎年3割程度います。									
改善の方策	令和6年度は、春に新たに生徒会企画行事(楽観観戦)を実施したり、秋の生徒会企画HRもしっかり準備して、充実した活動を行った。次年度は活動の報告や参加した生徒の感想などを全体によりリアルに伝えるような工夫に力を入れます。									

設問 8		学校行事について								
生徒	遠足、運動会、校内生活体験発表会等の行事は有意義である。									
保護者										
教職員										
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	
よくあてはまる	35%	39%	31%	31%	22%	31%	54%	43%		
だいたいあてはまる	32%	38%	43%	45%	43%	53%	46%	57%		
あまりあてはまらない	7%	6%	5%	5%	11%	5%	0%	0%		
あてはまらない	4%	2%	1%	3%	1%	0%	0%	0%		
よくわからない	21%	14%	19%	16%	23%	12%	0%	0%		
アンケート結果の分析内容	「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」の肯定的な回答をした生徒の割合が7割を下回り、減少傾向にありますが、保護者は7割を上回り上昇傾向にあります。逆に「あてはまらない」「よくわからない」と回答する生徒の割合は増加していますが、保護者の割合は減少しました。									
改善の方策	各種行事の参加者のアンケートを見ると概ね楽しかった等の肯定的な回答がほとんどになっています。有意義であるかどうかは、参加してみなければ判断できないことなので、各種行事の参加者数を増やす取り組みを行っていきます。									

設問 9		災害・非常時の避難方法について								
生徒	生徒・保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。									
保護者										
教職員										
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	
よくあてはまる	42%	45%	32%	21%	35%	40%	17%	14%		
だいたいあてはまる	44%	38%	40%	47%	46%	37%	71%	82%		
あまりあてはまらない	4%	5%	16%	9%	6%	6%	13%	0%		
あてはまらない	1%	2%	4%	5%	2%	1%	0%	0%		
よくわからない	8%	10%	9%	17%	12%	16%	0%	4%		
アンケート結果の分析内容	今年度、火災・浸水被害の訓練を実施しました。災害は、いつ起こるかかわからない災害に対し、常にアップデートしていかなければなりません。本校は、通信制課程ということもあり、学校に滞在している時間よりも、学校外に滞在している時間の方が長いですが、本校に滞在している場合の想定を中心に考え安心・安全に対応できるよう再構築していきます。									
改善の方策	訓練だけにとどまらず、定期的にeメッセージなどを活用し、避難意識、防災に関する知識を送信していくことを目指します。									

設問 10		郵送物について								
生徒	学校だより『みたその』や年度だより等の郵送物で、学校の情報を十分得ることができている。									
保護者										
教職員										
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	
よくあてはまる	53%	50%	51%	37%	32%	39%	25%	39%	32%	
だいたいあてはまる	40%	43%	41%	56%	58%	56%	71%	57%	68%	
あまりあてはまらない	2%	2%	4%	2%	4%	1%	4%	4%	0%	
あてはまらない	2%	2%	1%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	
よくわからない	3%	3%	3%	3%	5%	13%	0%	0%	0%	
アンケート結果の分析内容	生徒と保護者の肯定的評価が、概ね9割以上ありました。これは、「学校からの連絡は郵送物でおこなう」という通信制の基本がよく理解されているためと思われます。									
改善の方策	引き続き、学校からの郵送物は「すぐ開けて確認」を徹底させ、迅速に情報を伝えていきたいと思えます。「みたその」には、その時点で必要な情報が網羅されているので、学習の指針として活用を図っていききたいと思います。あわせて、ホームページ・Meラーニング等による情報発信も即時性を高め、改善を図っていきます。									

設問 11		情報発信について								
生徒	HP・eメッセージ・eラーニングで、学校の情報を適切に得ることができている。									
保護者										
教職員										
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	
よくあてはまる	51%			33%			21%			
だいたいあてはまる	40%			51%			58%			
あまりあてはまらない	4%			3%			13%			
あてはまらない	1%			1%			4%			
よくわからない	4%			11%			4%			
アンケート結果の分析内容	肯定的評価が生徒・保護者・教職員全てで概ね9割以上。これは、Meポートフォリオの利用やグーグルワークスペースの開始を初めとした学校の取組が評価されたものと思われます。									
改善の方策	学校の取組について、保護者の皆様に広くお知らせするとともに、11%の保護者の方から寄せられた「よく分からない」というご意見に対応できるよう、情報発信の充実を図りたいと考えています。									

設問 12		施設設備について								
生徒	教室や図書館、ラウンジ、トイレ等の施設は整備されている。									
保護者										
教職員										
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	
よくあてはまる	76%	76%		41%	38%		71%	54%		
だいたいあてはまる	21%	20%		37%	43%		29%	43%		
あまりあてはまらない	1%	2%		3%	3%		0%	4%		
あてはまらない	1%	0%		1%	0%		0%	0%		
よくわからない	2%	3%		17%	17%		0%	0%		
アンケート結果の分析内容	「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と回答した生徒の割合が非常に高いです。またウェルみやぎの施設設備は管理センターを中心に維持管理されており、いつも丁寧に清掃して下さる担当の皆さんあってこそその数字だと考えています。									
改善の方策	施設設備の環境整備を続けていくことによって、より効果的な学習環境を提供し、生徒の学習意欲を高めていきたいと考えています。									

設問 13		いじめ問題について								
生徒	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。									
保護者										
教職員										
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	
よくあてはまる	29%	26%		11%	12%		25%	29%		
だいたいあてはまる	30%	26%		32%	24%		63%	61%		
あまりあてはまらない	3%	5%		7%	4%		13%	7%		
あてはまらない	3%	1%		1%	2%		0%	0%		
よくわからない	34%	42%		49%	58%		0%	4%		
アンケート結果の分析内容	「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」の肯定的な回答をした割合は生徒で約6割、保護者で4割と低いものの、増加傾向が見られます。逆に「あてはまらない」「よくわからない」と回答した生徒・保護者の割合は減少傾向が見られました。									
改善の方策	前年度より、前期の考査後と後期の科目登録時の年2回実施するようになったことが肯定的な回答へつながったと思われます。しかし前期のアンケートが304名にとどまっているので、前期の「学校生活アンケート」の回答率をあげる努力をしていきたい。									

設問 14		生徒の学校生活について								
生徒	生徒にとって、学校生活は充実している。									
保護者										
教職員										
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	
よくあてはまる	34%	38%	38%	21%	20%	32%	4%	4%	11%	
だいたいあてはまる	51%	43%	39%	55%	54%	45%	63%	64%	71%	
あまりあてはまらない	5%	8%	11%	7%	10%	13%	17%	14%	11%	
あてはまらない	5%	5%	3%	4%	5%	4%	0%	0%	0%	
よくわからない	4%	6%	10%	12%	12%	7%	17%	18%	7%	
アンケート結果の分析内容	生徒の肯定的回答は85%と高い水準を維持しています。教職員は67%とやや低く、「よくわからない」という回答も17%と高くなっています。通信制という特性上、生徒・教職員間の直接的な交流機会が少ないことが影響している可能性も考慮する必要があると考えられます。									
改善の方策	日々のスクーリングはもとより、アンケートやICTツール等を通じて生徒の学習状況や生活状況を丁寧に把握するよう努め、より充実した学校生活を送れるよう、具体的な方策を検討していきます。									

設問 15		日常の教育活動について		
教職員		本校職員は、組織の一員であることを意識して、日常の教育活動に当たっている。		
数字は%を表しています	教職員			
	R6	R5	R4	
よくあてはまる	17%	18%	32%	
だいたいあてはまる	54%	75%	64%	
あまりあてはまらない	17%	7%	4%	
あてはまらない	0%	0%	0%	
よくわからない	8%	0%	0%	
アンケート結果の分析内容	R6は肯定的回答が71%と減少傾向(R5は93%、R4は96%)。否定的回答は17%と増加が見られます。「よくわからない」も8%出現。組織への意識について、見直しと活性化を図り、現状を丁寧に分析していく必要があります。			
改善の方策	教育目標及び理念の再共有、教職員間のコミュニケーション適正化、意識調査の継続実施をします。目標と役割の明確化、風通しの良い職場環境づくり、組織の一体感醸成を目指します。			

設問 16		分掌目標の実現について		
教職員		本校職員は、分掌目標の実現のために努力している。		
数字は%を表しています	教職員			
	R6	R5	R4	
よくあてはまる	21%	25%	29%	
だいたいあてはまる	63%	71%	71%	
あまりあてはまらない	13%	4%	0%	
あてはまらない	0%	0%	0%	
よくわからない	4%	0%	0%	
アンケート結果の分析内容	R6は肯定的回答が84%と高水準ではありますが減少傾向(R5は96%、R4は100%)。否定的回答は13%に増加、「よくわからない」は4%出現。分掌目標達成への取組について、改めて見直し、より効果的な進め方を検討する時期と捉えます。			
改善の方策	分掌目標の再確認と共有、目標達成に向けた具体的な支援策(ヒアリング、情報共有等)の実施、進捗状況の定期的な確認を各分掌でも実施し、目標達成意欲の向上を図ります。			

設問 17		業務の効率化について		
教職員		本校職員は、学校として業務の効率化に取り組んでいる。		
数字は%を表しています	教職員			
	R6	R5	R4	
よくあてはまる	13%	11%		
だいたいあてはまる	42%	43%		
あまりあてはまらない	33%	43%		
あてはまらない	4%	0%		
よくわからない	8%	4%		
アンケート結果の分析内容	R6の肯定的回答は55%とR5(54%)とほぼ横ばい。否定的回答は37%となりR5から減少はしたものの、業務効率化への取組が不十分と感じている職員が多いです。R4のデータがないため傾向は不確かですが、改善が必要な状況です。			
改善の方策	現状分析を行い、課題の明確化を行います。その上で、現行の業務が最適解である場合は、その根拠を丁寧に説明し、理解を促します。改善の余地があれば、ICTツール活用等による効率化を推進します。			

令和6年度「学校評価」の結果概要

令和7年2月
宮城県美田園高等学校

はじめに

この度は、学校評価アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございます。皆様からいただいた貴重なご意見は、今後の学校運営に活かしてまいります。

アンケート結果の概要を、以下のとおり4つの視点からご報告いたします。

1. アンケートの回答率について

- **生徒の回答率は17%、保護者の回答率は14%でした。**
- 昨年度と比較して、生徒・保護者ともに回答率が減少しました。より多くの皆様にご回答いただけるよう、今後も工夫してまいります。

2. 肯定的な意見が多かったもの

- **スクール・ミッションの実現について：**学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されていると、生徒・保護者・教職員ともに高い評価を得ています。
- **スクーリングについて：**本校のスクーリングはレポート作成に役立っていると、生徒の評価が高まっています。
- **相談の体制について：**生徒にとって、教員やカウンセラーが必要なときに相談に応じてくれる体制ができていると、生徒・保護者ともに高い評価を得ています。
- **教職員からのコメントやサポート：**成績表のコメントに対する感謝の言葉や、教職員のサポートに対する感謝の言葉もいただきました。これらの温かいお言葉は、教職員一同の励みとなります。

3. 否定的意見が多かったもの

- **スクーリング環境について：**座席不足、学習スペースの不足、私語による集中力の妨げなど、スクーリング環境に関するご意見が複数寄せられました。
- **学習サポートについて：**レポートのサポート体制の充実、個別指導の継続を求める声が多数ありました。
- **学校生活全般について：**昼食時の環境改善、保護者向けの学校情報提供ツールの導入、生徒の特性を理解した指導を求めるご意見がありました。

4. 昨年・一昨年から大幅に変化があったもの

- **進路指導について：**進路達成に向けた行事や講座などの学習機会が整備されているとの評価が、生徒・保護者ともに上昇しました。
- **情報発信について：**HP・eメッセージ・eラーニングで、学校の情報を適切に得ることができているとの評価が、生徒・保護者・教職員ともに高まりました。

最後に

今回のアンケート結果を踏まえ、生徒の学力向上、心の成長、そして社会の一員としての自立を支援するため、教職員一同、さらなる改善に努めてまいります。